

# まちの話題

ISA City Topics



## 創立 100 周年「春の伊佐農林館祭り」



4月10日～11日、伊佐農林高校において農林館祭りが開催され、生徒たちが育てた花苗や加工品などを買い求める客で賑わいました。

同校は、創立100周年の記念事業として建設を進めてきた手作りピザの石窯を2月に完成させ、農林館祭りでは来場者に焼きたてのピザを振る舞い、順番待ちの列ができるほどでした。2日間の来場者数は、およそ1,800人。

## 交通安全「いさっこ1年生」



市と伊佐地区交通安全協会、安全運転管理協議会は、新1年生213人に黄色いランドセルカバーを贈りました。

4月2日の贈呈式に新1年生を代表して4人が出席し、伊佐市の公認キャラクター「いーさーくん」と「イーサキング」が描かれたランドセルカバーと黄色い帽子を受け取りました。

また、サプライズで登場したイーサキングを前に子どもたちは、「交通ルールを守って、仲良く学校に通います」と元気に誓いました。

## 防疫協定に基づき職員派遣



先月、熊本県で高病原性鳥インフルエンザが発生した際、近隣の3市1町で結ぶ防疫協定に基づき、述べ5人の職員を派遣しました。

協定締結後はじめての派遣で、消毒槽への車両の誘導や消毒液の補充など、熊本県の職員や人吉市の職員らと連携して作業にあたりました。

県境に接するまちの使命として、今後も綿密な連絡を取りながら協力体制を進めていきます。

## 患者さん ומさせる絵に “感謝状”



鹿児島大学病院小児科病棟に飾られている絵画です。

大口図書館に勤務する長尾美紀さんに、市が依頼し描いてもらった絵画2点を同病院に寄贈しました。

これに対し、あたたかなタッチの絵が患者さんやご家族の心を和ませていると、同病院から伊佐市に感謝状をいただきました。

癒しのときと笑顔が増えますように。

## 新名称「うそ電話詐欺」



県警察本部が、「特殊詐欺」に代わる新名称を募集したところ、1,487点の応募があり、最優秀作品に「うそ電話詐欺」が選ばれました。

最優秀賞に該当したのは、鹿児島・霧島・指宿市、そして伊佐市の満園健三さん（山ノ口・60歳）4人が表彰されました。

特殊詐欺の特徴を的確に表現した広報啓発の名称として県民が理解しやすい作品であると評価されました。

## モデル校指定「大口高校」



4月18日、原付車安全利用モデル校の指定を受けた大口高校の体育館で指定書交付式がありました。

生徒代表の交通委員長 前田大地さん（3年）が「原付車安全利用宣言」を読み上げ、「モデル校を常に意識し、一人ひとりが安全利用に努めます。」と宣誓しました。

それを受けて、伊佐警察署の西迫署長が「ルールとマナーを守って、事故の被害者、加害者にならないよう、安全な利用を心がけてほしい。」と話しました。

同校の生徒267人中、原付車で通学しているのは104人です。

## 教職員着任式に新しい顔50人



4月3日、菱刈環境改善センターにおいて転入教職員着任式が行われました。今年、着任したのは新規採用からベテラン校長まで50人、伊佐の印象を一言ずつ述べ、自己紹介しました。

迎えた森教育長は「豊かな自然の中で育つ伊佐の子どもたちは、テクニックだけの指導ではついてきてくれない。熱を感じられる教育をお願いしたい」とあいさつし、「選ばれし者に人を託す」と締めくくりました。

また、JA北さつまから伊佐米100%の無洗米と大口酒造(株)からお洒落なワンカップタイプの焼酎セットが贈呈されました。